

令和3年度 事業計画

【総括】

2021年は、「電離放射線障害防止規則の改正」及び「医師の働き方改革にかかるタスクシフト／シェア推進に伴う既有資格者の告示研修」が、診療放射線技師にとって重要な課題となる。さらに、新型コロナウイルス感染症に伴うニューノーマル時代への対応が昨年度に引きつづき必要と考える。

水晶体の被ばく線量限度引き下げに伴い、不均等被ばくにおける放射線管理及び放射線業務従事者の被ばく低減に対する診療放射線技師の役割が大きくなるだろう。愛知県診療放射線技師会においては、患者被ばく管理と合わせて、研修会等で取り上げるなど会員及び施設に対してもサポートができるよう取り組んでいきたい。

また、医師の働き方改革にかかるタスクシフト／シェア推進では、診療放射線技師法の改正により、次の業務拡大が行われる。

- ① CT、MRI 造影検査や RI 検査のために静脈路を確保する行為、RI 検査医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為
- ② RI 検査のために RI 検査医薬品を注入するための装置を接続し、当該装置を操作する行為
- ③ 動脈路に造影剤注入装置を接続する行為（動脈路確保のためのものを除く）、動脈に造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為
- ④ 下部消化管検査（CT コログラフィ検査を含む）のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為
- ⑤ 上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、当該造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為
- ⑥ 医師又は歯科医師が診察した患者について、その医師又は歯科医師の指示を受け、病院又は診療所以外の場所に出張して行う超音波検査

2022年4月の養成校入学者から新たなカリキュラムで教育が開始され、2025年の国家試験から適用されることから、既卒の診療放射線技師については告示研修の受講が義務づけられる予定である。医師の働き方改革を推進するための関連法案の中で診療放射線技師法が改正されており、6月には厚生労働省医政局医事課長通知が出される予定である。700分のeラーニングを受講し、各都道府県で開催する385分の実技講習を受講することが、診療放射線技師免許を持つすべてに求められる。2015年からの統一講習会と今回の告示研修を合わせて真の業務拡大に繋がるものであり、本会としては、統一講習会を受講した上で告示研修を受講するよう引きつづき説明をしていく。

本会では、2100名強の会員だけでなく、非会員を含む全診療放射線技師に告示研修における実技講習の場を提供する必要がある。愛知県医師会及び愛知県看護協会等にご協力をいただき、愛知県臨床検査技師会、愛知県臨床工学技士会とも連携しながら、正に本年度の重要な事業として取り組んでいく覚悟である。

今年度においても新型コロナウイルス感染症の影響がどうなるかわからず、各事業の実施方法について検討していく必要があるが、昨年度に引きつづき、環境の変化に柔軟に対応し、ニューノーマル時代への対応を進めながら積極的に事業を展開していく所存である。

告示研修の他にも、例年通り、第14回県民公開講座を開催し、県民に対する公益事業として医療放射線に対する正しい理解と知識の啓蒙に努める。地区放射線展は、地域自治体の方針に沿って対応する。また、学術大会、研修会、ANTS、共催セミナー等を開催し、地域の学術大会に協力することにより会員の資質の向上に努める。組織の充実・調査活動として、マネージャー・サブマネージャーセミナーを開催し、Cherishの会（女性委員会）の活動も進めていく。発刊事業と共に、本年度も本会ウェブサイト改修し、Web化する事業への対応を進めると共にSSLを導入し、通信を暗号化することで第三者による盗聴、改ざん防止を図りセキュリティを強化する。ウェブサイト安全かつ有効に活用することによって、県民及び診療放射線技師をはじめとする医療関係者への情報提供、さらに非会員に対して告示研修を受講する必要があることをアナウンスしていくことが求められる。2015年からの統一講習会も再度、開催を予定する。

会員各位には、本年度我々に課せられた課題、特に告示研修について、さらには診療放射線技師を取り巻く状況、諸問題に十分にご理解をいただき、本会の事業に積極的にご参加いただきたい。絶大なるご支援、ご協力をお願いし、次の事業計画を提案する次第である。

[1] 地域保健共催事業への参画

1) 地区医療放射線展の開催 (広報部)

各地域で開催される健康関連のイベントには、地区役員及び会員の協力を得ながら引き続き参加の予定である。各地での医療関連の催しについても本会作成のパネルの貸出や参加することで、地域住民の保健医療及び福祉活動にも積極的に関わり、放射線についての正しい理解と知識の普及啓発に加え、医療における診療放射線技師の役割や技師会組織についての理解も深まるようにする。しかし、最近の経済情勢により各地方自治体は健康関連イベント予算の縮小傾向にあり、その都度、柔軟な対応をする。

参加内容 医療放射線に対する正しい理解と知識の啓発

- (1) 医療放射線、医療被ばくに関するPRパネル展示
- (2) 各種臨床画像の供覧
- (3) 医療放射線に関する相談
- (4) 医療放射線検査のVTR放映
- (5) パンフレット〈医療用放射線Q&A〉の配布 等

(以下の行事は総て予定)

- ① ~~第32回尾西地区医療放射線展~~
~~(一宮市民健康まつりへの参加)~~
~~期 日 未 定~~
~~場 所 一宮スポーツ文化センター~~
~~対 象 一宮市民他~~

新型コロナウイルス (COVID-19) 対応のため中止

- ② 第22回西三地区医療放射線展
(刈谷市福祉・健康フェスティバルへの参加)
期 日 令和3年10月上旬
場 所 刈谷市総合保健センター
対 象 刈谷市民他

他地区に於いても、要望があれば地域保健共催事業に積極的に参加していきたい。

2) レントゲン週間のイベント開催 (広報部)

第14回県民公開講座

期 日 令和3年11月7日 (日)
場 所 名古屋市立大学病院

11月のレントゲン週間にあわせて今年度も県民公開講座を開催する。

[2] 診療放射線技師の資質向上に関する事業

1) 学術大会・研修会の開催 (学術部)

科学技術の急速な進歩は医療機器・関連技術にも大きな変化をもたらす。医用画像関係の技術革新は著しく、多様化する医療現場において診療放射線技師の果たす役割と責務は一層重要となる。

患者さんはより高い医療と満足を求めて医療機関を選ぶようになりつつある。その中で診療放射線技師はどうあるべきか、医療人としての自覚と職業倫理が高揚できるような企画を考える。

期 日	通 年
場 所	会員の勤務する県内の医療機関・本会研修室等
内 容	(公社) 愛知県診療放射線技師会学術大会 1回 (第33回学術大会) (公社) 愛知県診療放射線技師会研修会 4回 (公社) 愛知県診療放射線技師会寺子屋研修会 2~3回
対 象	(公社) 愛知県診療放射線技師会会員及び 愛知県在住及び勤務する診療放射線技師

2) 講習会の開催 (執行部)

チーム医療における安全や質の確保に必要なノンテクニカルスキルに関連した講習会等の開催について検討する。

3) 調査研究活動の充実

愛知県放射線管理士部会と学術部との連携をとり、放射線管理に於ける調査研究を充実する。加えて、会員を対象に線量計の貸し出しを行う。

(公社) 日本診療放射線技師会認定資格取得者の組織化及び活動の強化を目指す。

4) 共催事業

① 第24回さつきセミナー (学術部)

期 日	令和3年5月30日 (日)
場 所	WEB 開催
対 象	(公社) 愛知県診療放射線技師会会員及び 愛知県在住及び勤務する診療放射線技師
目 的	診療放射線技師の生涯教育における放射線領域関連技術の講演会の開催

② 第21回サマーセミナーの開催 (組織調査部)

期 日	令和3年8月21日 (土)
場 所	電気文化会館 (名古屋市中区)
対 象	(公社) 愛知県診療放射線技師会会員及び 愛知県在住及び勤務する診療放射線技師
目 的	診療放射線技師の属する職場の管理に必要な事項についての講演会並びに討論会の開催

③ 第31回診療放射線技師フォーラム (学術部)

期 日 令和3年11月
場 所 ウィンクあいち
対 象 (公社) 愛知県診療放射線技師会会員及び
愛知県在住及び勤務する診療放射線技師
目 的 診療放射線技師の生涯教育における放射線領域関連技術の講
演会の開催

④ 第22回新春セミナー (組織調査部)

期 日 令和4年1月26日 (水)
場 所 エーザイ株式会社名古屋コミュニケーションオフィス
対 象 (公社) 愛知県診療放射線技師会会員及び
愛知県在住及び勤務する診療放射線技師
目 的 診療放射線技師の生涯教育における初心者の放射線領域関
連技術、並びに全会員のための全人的教育の講演会の開催

⑤ ANTs (学術部)

期 日 通 年 (4回を予定)
場 所 本会研修室 (又は Web 配信)
対 象 (公社) 日本 (愛知県) 診療放射線技師会会員及び
核医学検査または研究に従事する診療放射線技師
目 的 診療放射線技師の生涯教育における核医学検査に関する関連
技術の習得及び最新の情報提供を目的とした講演会の開催

本会会員及び診療放射線技師の資質向上に寄与する共催依頼があれば積極的に共催開催する。

5) (公社) 日本診療放射線技師会認定事業・セミナー等の開催

(総務部)

(公社) 日本診療放射線技師会と呼応し、諸資格の認定講習会・試験、セミナー等を会員の皆様の参加しやすい形態にて隣県との連携も考え、地方開催する。

6) 地域の学術大会や研究会などへの参加

研究発表を促し、シンポジスト等の派遣の依頼にも応え、会員の学術研鑽や研修の場として活用できるよう積極的な参加を呼びかける。

① 第13回中部放射線医療技術学術大会
(令和3年度 第29回 中日本地域放射線技師学術大会・
第55回 日本放射線技術学会中部部会学術大会)

期 日 令和3年11月20日 (土) 21日 (日)
場 所 WEB 開催
当 番 (公社) 石川県放射線技師会
(公社) 日本放射線技術学会中部部会

② 第62回東海四県放射線技師学術大会

期 日 令和4年2月

場 所 四日市市文化会館（四日市市）
当 番 （一社）三重県診療放射線技師会

7) 後援事業について

他団体が運営する医療関連の研修会・講演会など、本会の趣旨と合致するものについては、後援依頼があれば常務理事会に諮り後援する。

[3] 組織の充実・調査活動

1) 地区活動の推進（組織調査部）

各地区との連携を密にし、地区総会や研修会の開催など地区理事を中心にした地区活動の強化をはかり、各地区の住民に対しては医療放射線展などを通し放射線の安全管理についての知識の普及や啓発活動を行い、地域医療の発展向上に寄与する。

期 日 通 年

対 象 県下9地区

名古屋東地区、名古屋西地区、名古屋南地区、名古屋北地区
東三地区、西三地区、知多地区、尾東地区、尾西地区

2) 職場責任者会議（マネージャー・サブマネージャーセミナー）の開催（組織調査部）

各施設の所属長に対して技師会に関する理解と協力を要請し、技師会活動の活性化を図るとともに、本会の基盤強化及び情報交換の場を提供する。数年前から職場責任者会議（マネージャー・サブマネージャーセミナー）とし範囲を拡げ、各施設の管理職のみならず、次世代を担うスタッフを対象としている。（会議を通して技師会への入会と開催行事への参加を促進する）

3) Cherishの会（女性委員会）について

（公社）日本診療放射線技師会が主催する女性活躍推班の活動と呼応し、本会でも女性技師が活躍できる会を設立した。令和2年より女性活躍推進班は業務改善推進委員会として引き継がれ、本会でも引き続き積極的な活動を進め、女性活躍推進の支援に努めるとともに、診療放射線技師の情報交換を通し、広義で職場環境を整え、働き方改革の推進にも寄与できるような有意義な委員会としていく。

講習会開催

期 日 未 定

場 所 未 定

対 象 （公社）愛知県診療放射線技師会会員及び
愛知県在住及び勤務する診療放射線技師

目 的 診療放射線技師の生涯教育における放射線領域関連技術、交流を通じて職場環境・働き方（改革）の可視化と講演会の開催

[4] 発刊事業（広報部）

通常総会ははじめ学術大会や研修会などの本会各種事業の案内、会務の報告、福利厚生、地区活動、会員の移動状況その他の情報を伝える。

期 日	通 年
内 容	愛知県診療放射線技師会誌・・・・・・・・・・2回 愛放技通信・・・・・・・・・・・・・・・・適宜

[5] 会員親睦行事の開催 (組織調査部)

ボーリング大会などスポーツを通じて、会員相互の親睦を図る。

期 日	令和3年 秋
場 所	未 定

[6] 県技師会研修室について

平成21年度に県技師会事務所の隣室を研修室として整備した。研修室は、会議(理事会・各部会)・研修会・講習会の会場として利用されている。今年度も公益社団法人として、診療放射線技師の技術向上を目的とした研修や再就職への技術習得の場として活用する。また会員相互の研修会・勉強会などにも積極的に利用をお願いする。

[7] ホームページの拡充 (広報部・組織調査部)

ホームページを通して今年度も本会の情報発信を行う。公益法人として、県民への情報提供及び診療放射線技師をはじめとする医療関係者へ、有用なものとなるようにする。適宜会議を開催しホームページの内容を拡充する。

[8] その他

以上の基本的事業のほか、会員の福利厚生に関する事項や(公社)日本診療放射線技師会はじめ関係諸団体や賛助会員からの要請等については、弾力的に対応する。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状況を考慮し、あらゆる事業について、WEB開催などの対応を検討する。